

第 11 回 次期ごみ処理施設整備専門委員会 議事要旨

日時：令和 7 年 3 月 18 日（火）14:00～15:30

場所：泉南清掃事務組合

【出席者】

・委員 6 名

委員長	吉田 登	国立大学法人 和歌山大学教授
職務代理人	下村 泰彦	公立大学法人大阪 大阪公立大学名誉教授
委員	竹中 規訓	公立大学法人大阪 大阪公立大学教授
委員	水谷 聡	公立大学法人大阪 大阪公立大学准教授
委員	蓑田 哲生	一般財団法人環境事業協会技術顧問
委員	松本 洋介	桜橋法律事務所所属弁護士

・事務局 4 名 馬場事務局長 川村事務局次長 八塚事業課主幹 藤井係長

1 開会

2 議事

・前回委員会議事要旨の確認

【質疑等】

専 門 委 員：各委員から意見があれば、事務局で対応するということをお願いしたい。

事 務 局：了解しました。

・これまでの経過及び今後の予定（報告事項）について

事務局より、これまでの経過及び今後の予定（報告事項）について説明

【質疑等】

専 門 委 員：第 12 回専門委員会の「提案書に関する質問の協議」はどのようなものか。

事 務 局：提案書を確認いただいた時点で内容に関して気になった内容等があれば、事業者
に質問をし、ヒアリングまでに回答いただくことを考えています。当該質問事項
をとりまとめるために、委員会の中で協議を行います。

専 門 委 員：第 12 回専門委員会は実際に応募される事業者は参加しないのか。

事 務 局：第 12 回専門委員会には事業者は参加しません。第 13 回選定委員会では、事業者
からプレゼンテーションを受けて、ヒアリングを行います。

専 門 委 員：第 13 回選定委員会の流れを教えてください。

事 務 局：技術ヒアリングをして、専門委員会で技術点を確定させます。技術点の確定後に
開札を行い、開札のタイミングで事業者技術点をお伝えします。入札の金額を
確認後に価格点を算出し、技術点と価格点から総合評価点を算出したのち、最優

秀提案者の選定に進みます。その後、組合にて落札者の決定を行います。

専門委員：1社の場合は、評価の際に相対評価ではなく絶対評価になってしまうが、1社でもヒアリングを行うのか。

事務局：1社でもヒアリングを行うことは入札説明書にも記載しています。

専門委員：技術点は落札者決定基準に基づいて目安が提示されるのか。

事務局：落札者決定基準と、見どころ表を付けて説明させていただきます。

専門委員：万が一、その1社が不適当だった場合は、再度事業者選定を行うことになるか。

事務局：点数の足切りは設けていませんが、開札時に予定価格を超過した場合等は欠格になるため、その場合は再度事業者選定を行うことになります。

・対面的対話結果（報告事項）

事務局より、対面的対話結果（報告事項）について説明

【質疑等】

専門委員：見学者の下履きを許可することについて、組合の見解に「上履きを認めた」とあるが、「下履きを認めた」の間違いでは無いか。

事務局：訂正します。

専門委員：消防に関して、消防活動空地を設ける必要はないのか。

事務局：新しく建設する工場棟の周りにある通路の中に設けることで消防署に確認しています。路面には「消防活動空地」と表示することを想定しています。

専門委員：建築の建替え行為になるのであれば、特定行政上の判断は必要なのか。

事務局：確認します。

専門委員：ごみピットについて、2日分計画ごみ量の計算式で、365日で割っているが、焼却炉が稼働しない日も含めて良いのか。

事務局：施設規模104t/日は、国から示されている式に基づいて算定しています。受入れは、炉が動いていない日（休炉時）も実施することになるため、365日で割ることについては問題ないと考えられます。

専門委員：搬入量に関して、繁忙期の最大1日分（204t）は実績か。

事務局：直近3年間の実績から設定しています。

専門委員：繁忙期の最大1日分（204t）が搬入された際はどのような運営を行うのか。対面的対話の確認事項において、投入扉の門数を減らすことの提案を可としているため、その点を含め検討しておくほうが良い。

事務局：詳細な運営方法等については今後検討します。

専門委員：関西電力送配電（株）に対して接続検討の申し込みを行っているか。

事務局：まだ行っていません。

専門委員：性能試験の破碎機について、目標値とすることを認めたということだが、保証値等は提示しないのか。

事務局：焼却するための前処理のために設置しているものであるため、目標という形が妥当だと考えます。

【意見等】

専門委員：水中ポンプについて、予備機分は交付対象外となるためその点をご認識いただきたい。

専門委員：受電方式については、実現性や将来の人口減少も加味した経済性等を踏まえ、総合的に判断する必要があると考える。その点を考慮のうえ、検討をお願いしたい。

- ・その他

第12回専門委員会は、5月24日（土）午前10時から現地開催とするが、Webでの対応も可とする予定である。

第13回専門委員会は、6月13日（金）午後1時半から現地開催とする。

第12回、第13回ともに開催場所については事務局から各委員へ連絡する。

3 閉会

以上